

平成28年度 西崎特別支援学校 外部評価(学校評議員)

(H29. 3. :資料)

NO	評価領域	評価			感想・意見等	今後の学校の取り組み
		不十分	←	→		
1	本校の教育目標 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。		3	2	<p>① 糸満市役所の1階において展示されていた西特生徒の作品では、子供たちの成長・活躍をうかがうことができました。</p> <p>② 学校長からの具体的な方針案や方策が示されており、目指す子ども像と教育実践への方向性は理解できたが、実際の取組や保護者への伝え方に関しては、教職員、保護者の評価から改善すべき点もあった。さらなる伝え方の工夫も必要なのではないか。</p> <p>③ 教育目標は、教員間では伝わっていると思うが、子供たち、その親へ伝わっているかは…？</p>	<p>② 評価から見えてきた課題について、「自立と社会参加、貢献のできる幼児児童生徒」の育成という目指す子ども像と、「子供の主体性、思考を伴う学習活動、学習上・生活上の基礎基本の定着」という「3つの柱」を軸にした教育方針を教職員相互で情報共有しながら実践を深め、さらに保護者、子ども達にわかりやすく伝える工夫をしていきたい。</p>
2	本校の教育実践 学校は教育課題について適切に取り組んでいる。	1	1	3	<p>① 子供たちを中心とした学校運営に取り組む校長先生はじめ職員皆さんの献身的かつ高い教育の質を維持する姿に敬意を表すしだいで。</p> <p>② 3つの柱を軸にした教育実践を追求して頂きたいと思います。</p> <p>③ 学校経営方針を理解し取り組んでいる教職員は、授業等の実践に意欲的に取り組んでおり、幼児児童生徒が主体的に動き、思考している姿も見られたが、まだまだ教師主導の授業もあった。学部間で良い授業への取組の共有や子どもの情報交換などが積極的に行われると良いのではないか。</p> <p>④ 授業参観で見学させていただいた授業ですばらしい授業がありました</p> <p>⑤ 職員間や保護者とのコミュニケーションを頑張ってほしい。</p>	<p>③ 目的的行動の定着に向け、各授業実践のなかで、目標の具体化や達成に向けての方法等のアドバイスを教職員間で情報交換できるように授業研究会等を積極的に取り入れていきたい。また、子ども一人一人のめあてに対する意識強化を家庭と連携して取り組みたい。さらに、各行事等の計画・実施の立案へ参画させる等、達成感を持てる取組の工夫を行う。</p> <p>⑤ 課題を踏まえて、ニーズに合った、保護者とのコミュニケーションの場を設けていきたい。</p>
3	本校の健康・安全 学校は健康・安全教育に取り組んでいる。		1	4	<p>① 昨年、学校の前の道路に信号機の設置は、安全性をより高める行為と考えます。</p> <p>② ヘリポートのための目印の作成や避難訓練等の取組は十分になされている。幼児児童生徒の日頃の健康観察にも十分に配慮がされている。今後は、幼児児童生徒自ら自己の健康や安全に関して取り組む態度や意識付けを、発達段階や実態に応じた実践ができるようにしてほしい。</p> <p>③ 性への取組は大切だと思いました。</p> <p>④ 継続的に頑張ってほしいです。</p>	<p>① 今後も、校外学習等で機会ある毎に信号機を活用した安全教育を繰り返し、交通安全意識を高めていきたいと思う。</p> <p>② 今後さらに地域や関係機関と連携を図った避難訓練や安全教育の実践に取り組む。また、日頃の教育活動の中で、地域の様子を知る機会(学習内容)を盛り込み、自ら意識して行動できるように努める。</p> <p>③ 今年度の研修・研究も生かし、発達段階に応じた性教育の取組を深めていきたい。</p>

NO	評価領域	評価		感想・意見等	今後の学校の取り組み	
		不十分 ←	→ 十分			
4	本校の環境美化 学校は校舎内外の環境美化に取り組んでいる。		4	1	<p>① 校内外が広いという学校の特性のため、なかなか時間と人手が足りないと思いますが、この点を考慮しても、美化に力を入れていると思います。</p> <p>② 以前より花が減っている気がします。できれば、水産高校や地域の自治体と一緒に環境美化に取り組めると良いですね。</p> <p>③ 学習環境の整備については、意識して取り組んでいる状況が見られ、掲示物の工夫や花壇の整備などはなされていた。朝の清掃活動にも生徒が取り組んでいる様子もあり、今後も継続して取り組んでほしい。</p>	<p>② 高等部農園芸班と連携した苗の準備や呼びかけを行う等して、各学部、季節毎の校内緑化の取組に努める。また、地域の自治体への働きかけ等の取組を行い、地域との関わりや連携を増やしていきたい。</p> <p>③ 正門、玄関周り、廊下や階段等の環境を整え、朝の清掃活動のみならず、管理者も含め教職員が見本となって、今後も美化意識を高める取組を行う。</p>
5	本校の進路指導 学校は適切な進路指導に取り組んでいる。		1	4	<p>① 生徒に合った、適した実習先を探していると思っています。</p> <p>② 近隣の施設の職員より「西特の生徒がたくさん利用し、非常がんばっています」と賞賛のことばをいただき、西特評議員として嬉しく、誇らしく感じています。</p> <p>③ 昨年度取り組んだキャリア教育の実践と、進路指導、日頃の教育実践と進路指導との関連性が、授業や広報からは分かりづらい。幼稚部から高等部までの全教職員が進路と、日頃の指導・支援について、意識して取り組むことも必要ではないか。</p> <p>④ 卒業後の子供達の2～3年は、ちゃんとフォローしていただけるとありがたいです。</p> <p>⑤ 社会に出るの基本は、あいさつですよ。元気なあいさつ。小さい頃から大切です。</p>	<p>③ 今一度、キャリア教育について共通理解が必要。日頃の実践との関連性やキャリア教育の視点を意識した指導・支援について、情報交換できるような授業研究会等もあわせて検討したい。</p> <p>④ 進路部では卒業後3年間の追指導を行っているが、周知不足だと分かった。情報発信を図るとともに、特に社会に出るまでに緩やかなステップが必要な子ども達を中心に事業所との連携を図りたい。</p> <p>⑤ 児童生徒会が自主的に取り組んでいる「あいさつ運動」を今後も積極的に継続しながら、教職員が見本となって登下校時や校内でのあいさつ励行やマナー指導に努める。</p>
6	本校のPTAや地域との連携 学校はPTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。		2	3	<p>① PTA活動も数多く取り組んでおり、忙しい中尽力している様子がうかがえます。</p> <p>② 「西特盆踊りの夕べ」をはじめとする各種行事に職員と保護者が連携し一体となったPTA活動も高く評価します。</p> <p>③ PTA活動も活発であり、学校教育について、理解をしていると感じられた。地域との連携においては、授業実践やその他教育活動全般において、積極的に活用できる体制（販売や清掃活動等）ができると良いのでは。</p> <p>④ もっともっと、西特を地域にアピールして欲しい。</p>	<p>③</p> <p>④ 今年度も行ったように、地域資源(ファーマーズいとまん・FMたまん等)を活用した広報活動を引き続き行い、学校(子ども達)の活躍をアピールしていきたい。また、各学部で検討してもらい、近隣の商業施設との連携や自治会等との交流を活かした授業実践の促進を図る。(30周年記念事業とも連動)</p>